

第10回 嘉麻市行政経営推進審議会 会議録

1. 審議会等の名称 平成30年度 第10回嘉麻市行政経営推進審議会
2. 開催日時 平成30年11月9日（金） 14:00～15:17
3. 開催場所 嘉麻市役所碓井庁舎2階 会議室3
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 非公開の理由（会議を非公開とした場合のみ）

6. 出席者

(1) 委員

山崎克明委員、松岡光昭委員、吉岡滋樹委員、吉安勝行委員、大熊孝二委員、村上曙生委員、大森成順委員、川原幸二委員、西村光昭委員、富崎静江委員、松田クニ子委員

*欠席委員1名 上野美智子委員、

(2) 執行機関

市長 赤間幸弘、企画財政課長 大村輝生、企画財政課長補佐 廣谷友紀、
行政改革推進係長 田中ひふみ、行政改革推進係 和多美幸

7. 傍聴人数（会議を公開した場合のみ） 0人

8. 議題及び審議の内容

【議題】

(1) 答申書（案）について（審議）

【審議の内容】

(1) 答申書（案）について（審議）

資料1に沿って、各市の敬老事業の取組状況について、また答申書（案）についての説明を行った。（事務局）

説明を受け、審議を行い、次のような質問及び意見が出た。（委員）

- ・個別の行政改革実施状況に関する審議は行ってきたが、行政改革の実施状況全体に対する総括的な意見について審議できていないため、意見を出し合い答申書へ反映させたい。
- ・観光協会設立による観光業務の委託については、(株)嘉麻スタイルができたことにより実施計画を立てた時点での状況とは変わってきたということだったが、本当に観光協会に観光業務を委託するのか。
→(株)嘉麻スタイルの設立により、観光協会設立を見送らざるを得なかったという状況はある。行政改革実施計画の実施項目上では、方向転換しているし法人化が見送られたということで「遅延」というような形になっているが、最近の取組の中で、法人化の動きが出てきたということで、(株)嘉麻スタイルと道の駅うすいと共にDMO嘉麻として今後法人化を目指すということになっている。
- ・ホテルマリオットと積水ハウスが手を組んで、道の駅を中心にホテルを作りながら、海外の観光客の誘客や、例えば織田廣喜美術館を見学するような企画で人が集まってきて宿泊

するというような産業を作っていくということである。福岡市内でイベントがあった際には、ホテルが全く取れない。1時間くらいで来れるこの辺りに道の駅とホテルがあるという事業展開があるとよい。そういうことで、大手企業を誘致したりもできるのではないかな。

- ・株式会社があって、一般社団法人を設立する必要はあるのか。似たような組織ができると、非効率的になる。(株)嘉麻スタイルに何を求め、観光協会に何を求めるのかが分からない。本当は一緒にやるべきことを、2つの組織でやることで、うまくいかなくなることは明白である。

→元々は、まちづくり協会がDMO嘉麻の頭脳的役割を果たし、(株)嘉麻スタイルが実行部隊的な役割を果たすというのが当初の目論見であったようである。しかし、その区分けがうまくいっておらず、非常に分かりづらくなってきたという現状がある。二次評価を行った「観光まちづくり事業」でも、二次評価者から「DMOの中でのそれぞれの役割について、行政側から一定のコンセプトを示して明確化していく必要がある」という指摘が出ている。

- ・観光業務について検討し、それを実行するという事は1つの組織で行われるべきである。
- ・敬老事業について、近隣市町なみにすべきである。
- ・若い年齢から支給しているだけでなく、金額も多い。その辺りを整理するべきである。
- ・公平性から考えると、段階的に行っていくことも難しい。
- ・支給年齢の引き上げや金額の引き下げ、また、廃止項目の検討が必要である。その代わりに、低所得者層を救済する手立てなどを検討すべきである。

9. 配布資料

平成30年度第10回嘉麻市行政経営推進審議会次第

資料1 各市の敬老事業の取組状況

答申書(案)